

研究テーマ

想定外の現象に柔軟な挙動を示すはりに関する数値解析

背景

- ・ IoTによる機械と情報の融合
ex) 自動運転、遠隔操作
- ・ スマート材料／構造の研究
ex) 自己修復材料、圧電材料

課題

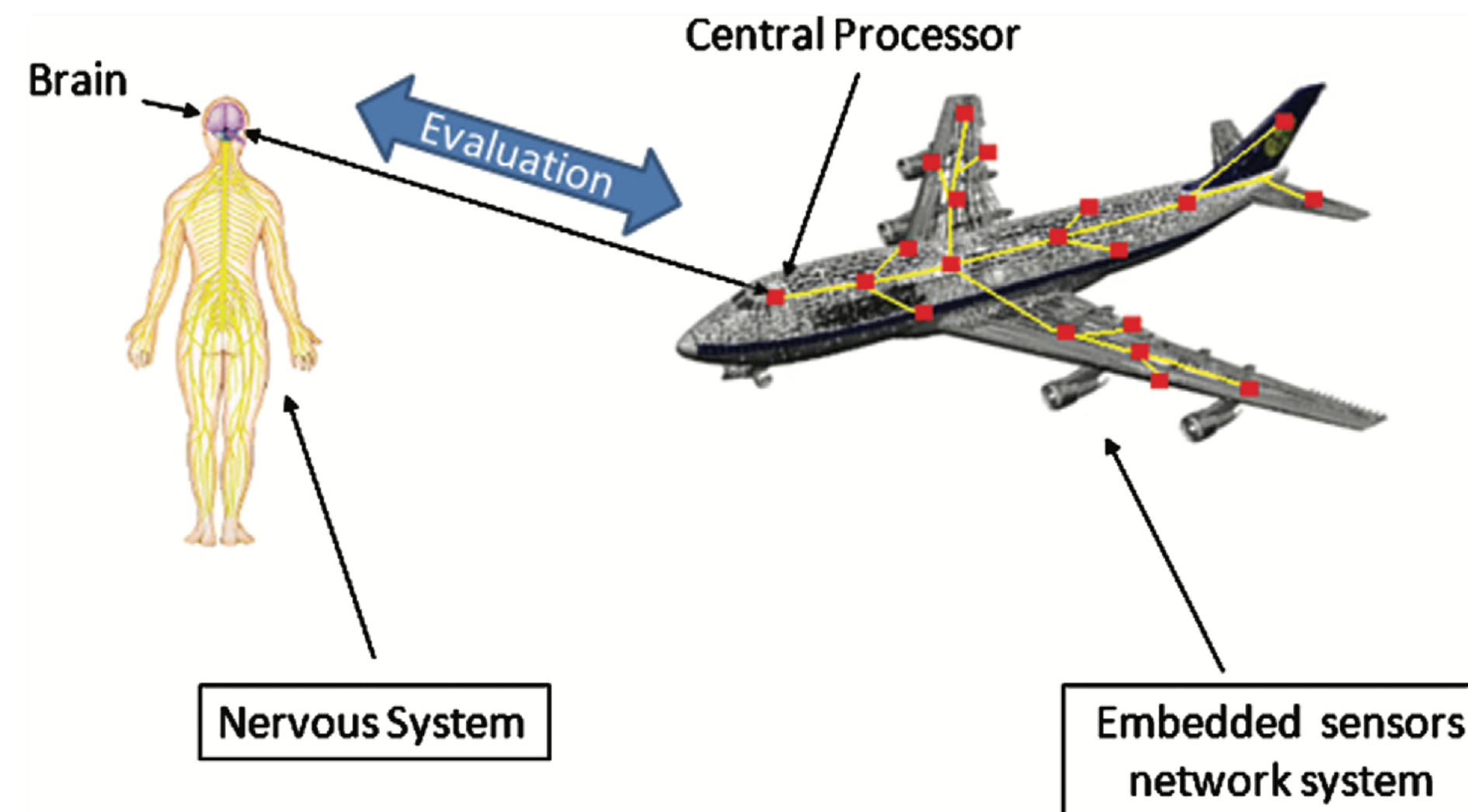
現在のスマート材料／構造は特定の現象にしか対応できない

目的

想定されない現象に柔軟に対応する材料構造の設計

方針

- ・ 従来の材料にセンサ、アクチュエータを付与（を想定）
→ センサの局所情報が遠方のアクチュエータに影響を与え、
従来と異なる挙動を示す可能性
- ・ 学習機能の付与（機械学習、強化学習）
→ 認知、判断を材料自身が行うために有効か



出典：Nervous Materials, Samir Mekid,
Science of Advanced Materials

